

# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

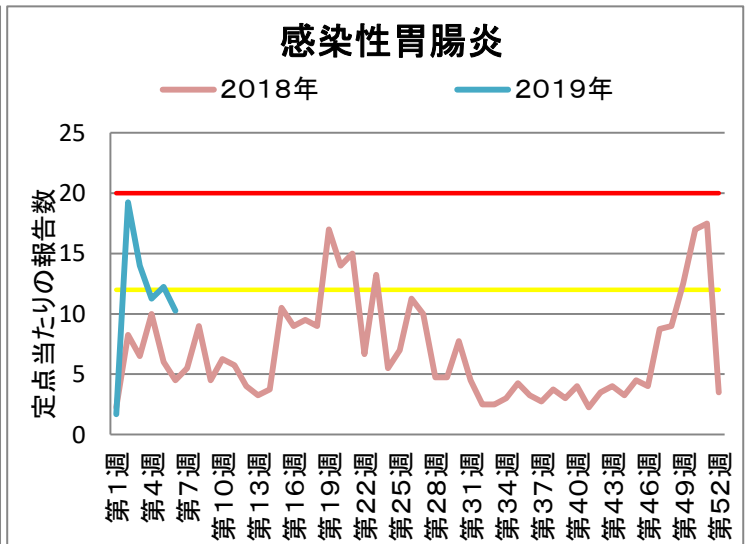
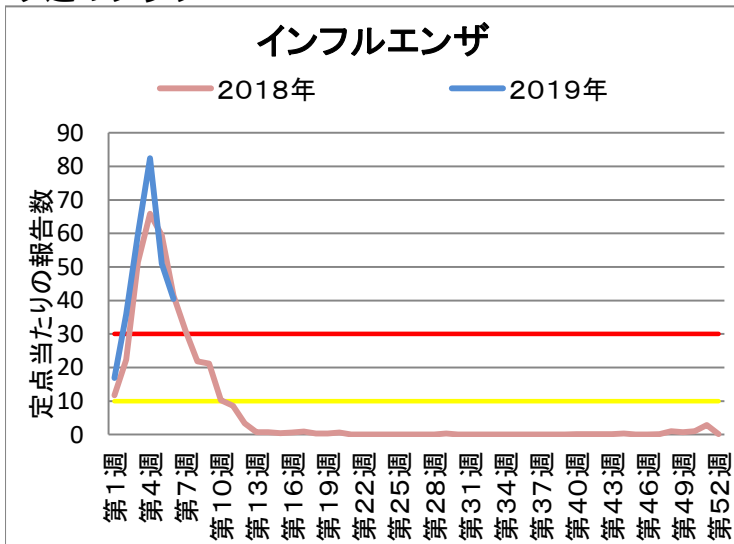
(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点)

第 6 週 2019年2月4日 ~ 2019年2月10日

## 今週のコメント

- インフルエンザの報告数はピークを過ぎたようですが、まだ例年のピーク時程度の数値です(定点あたり40.43)。引き続きご注意ください。
- 感染性胃腸炎の報告数はやや低下しましたが、高めで推移しています(定点あたり10.25)。
- 麻疹症例の報告が続いています。京都府の今年の報告数は2月13日現在で6例で、昨年の2例を超えています。大阪府によると、今年の麻疹報告例は2月13日現在で38例で、昨年の15例を大きく超えています。麻疹(はしか)は、感染すると10-12日の潜伏期の後に数日発熱、一度解熱した後に再び数日の発熱と全身の発疹が出現します。大変感染力の強い疾患ですので、麻疹が疑われる場合は医療機関に電話してから受診しましょう。学校等では解熱3日後まで出席停止とされています。
- 2月8日の厚労省の発表では、全国的に風しんと伝染性紅斑(リンゴ病)の報告が続いているとのこと。

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です 青線 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	40.43	伝染性紅斑	0.25
RSウイルス感染症	0.5	突発性発しん	0.25
咽頭結膜熱	0.5	ヘルパンギーナ	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	流行性耳下腺炎	-
感染性胃腸炎	10.25	急性出血性結膜炎	-
水痘	0.25	流行性角結膜炎	-
手足口病	0.5		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所

小児科定点(インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所

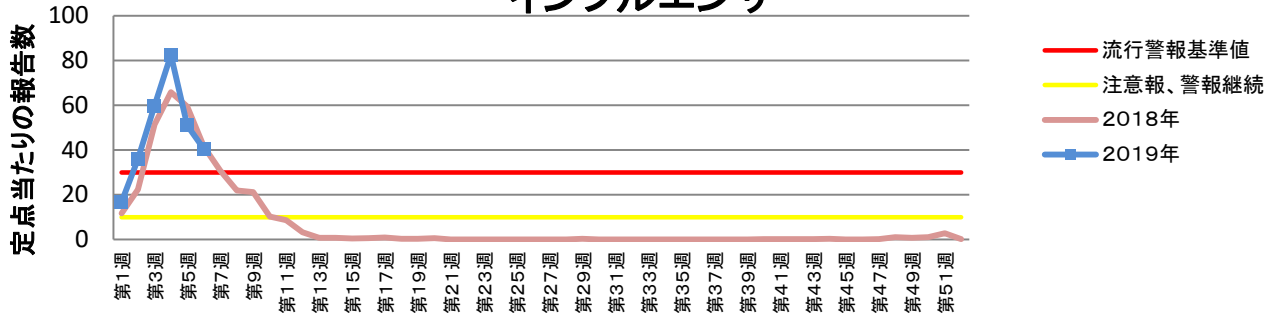
眼科定点 : 1箇所

## 参考資料等

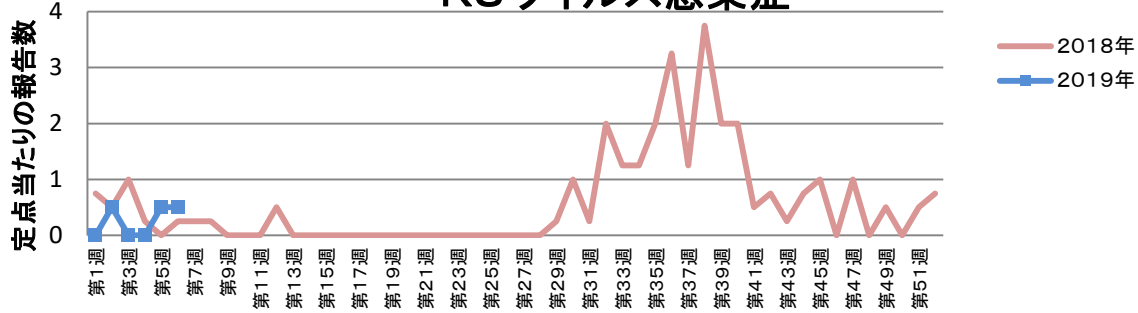
報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

# 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

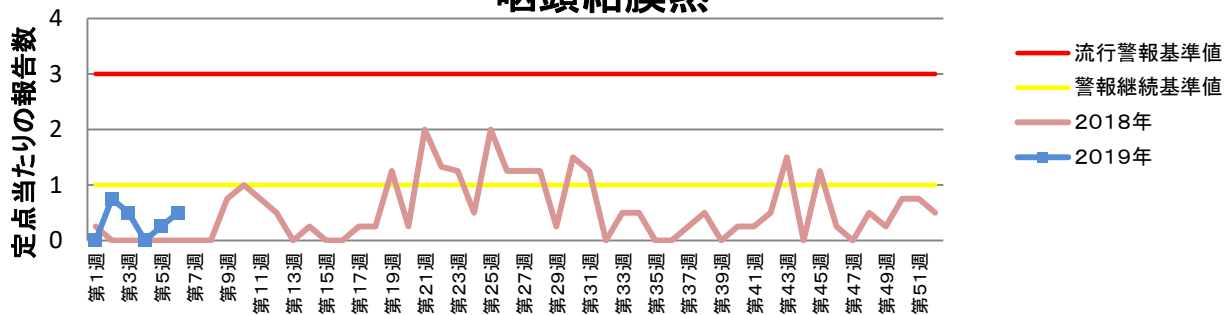
## インフルエンザ



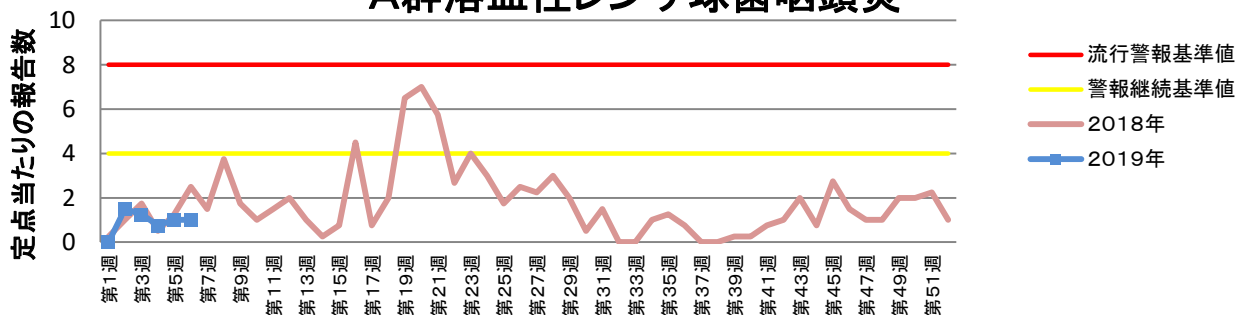
## RSウイルス感染症



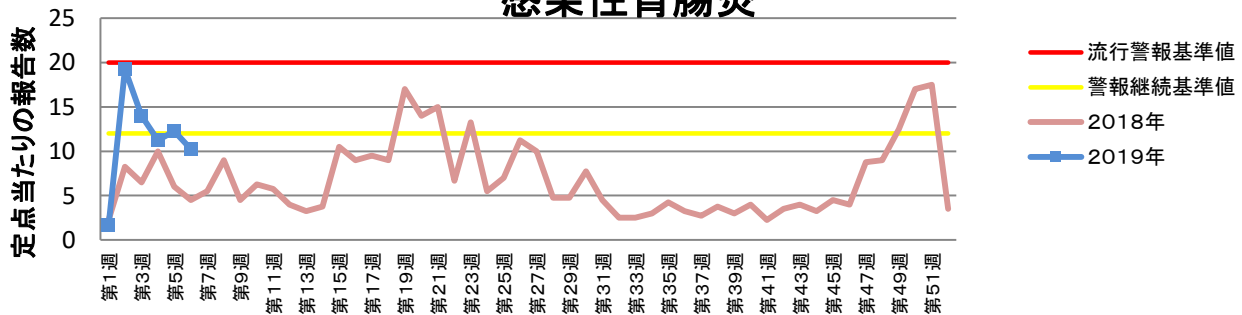
## 咽頭結膜熱



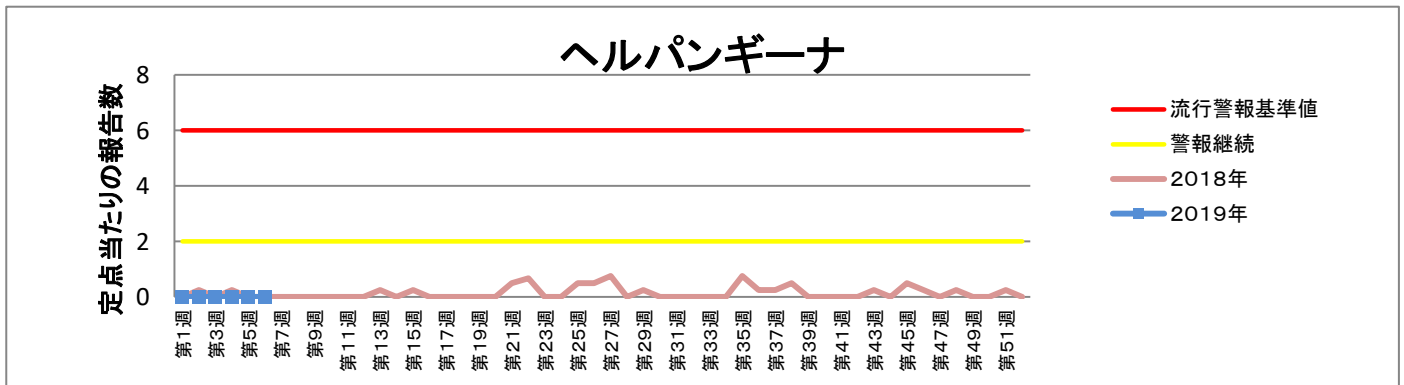
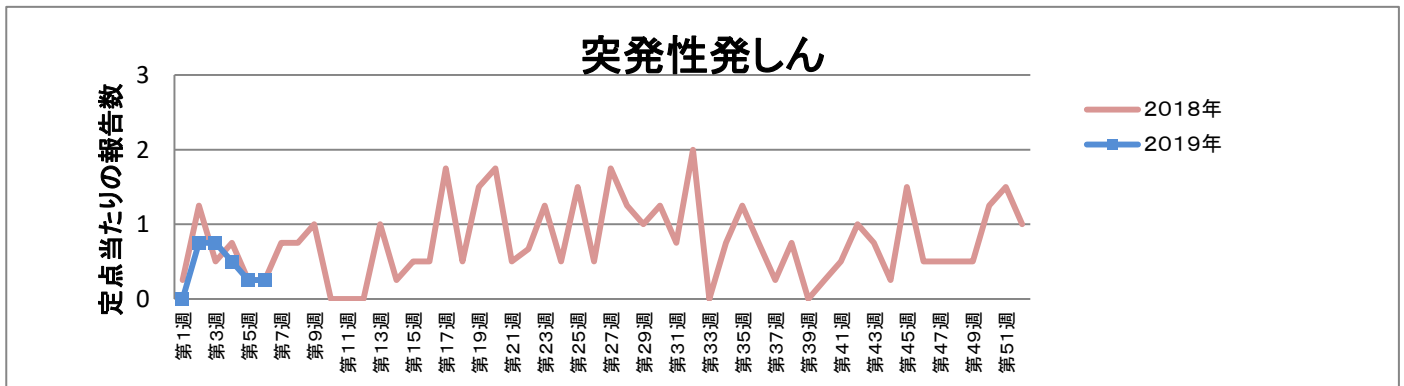
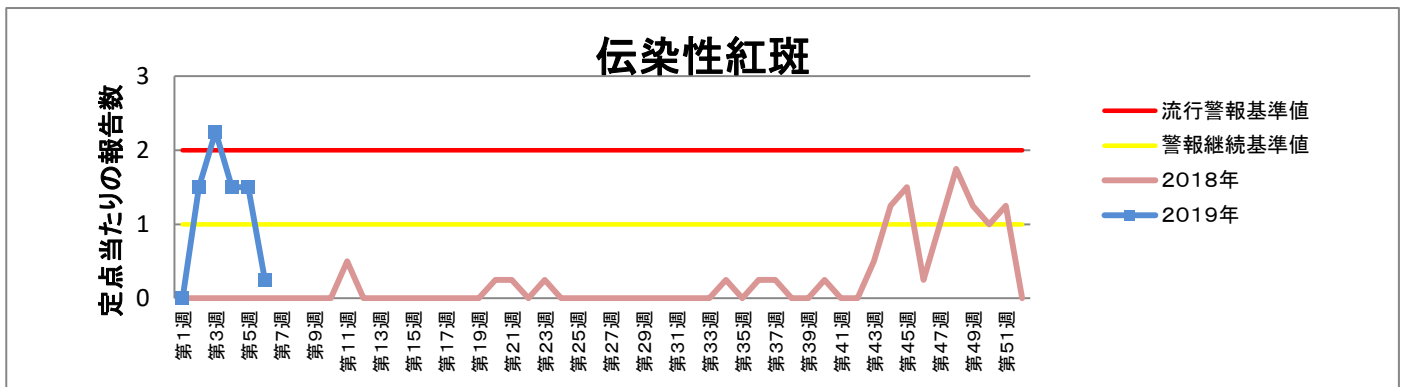
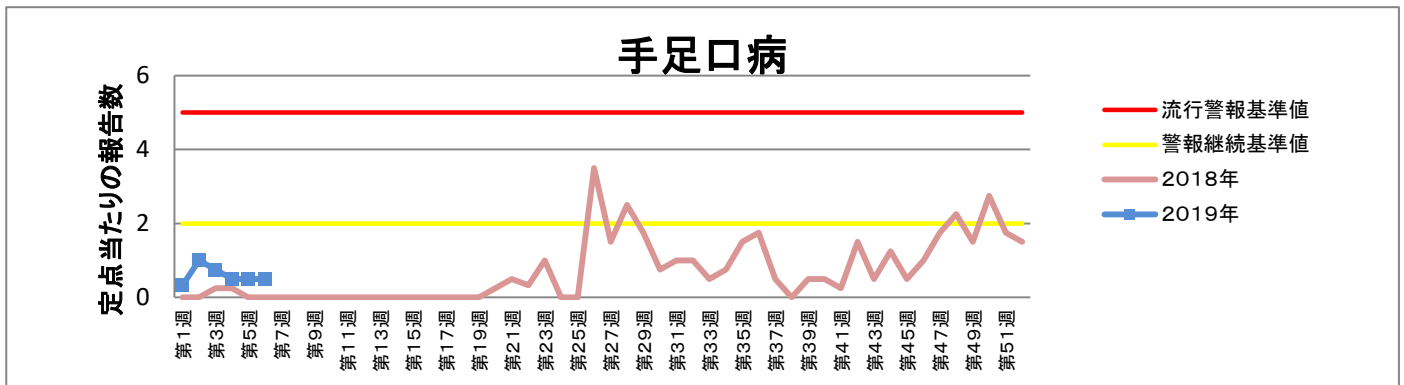
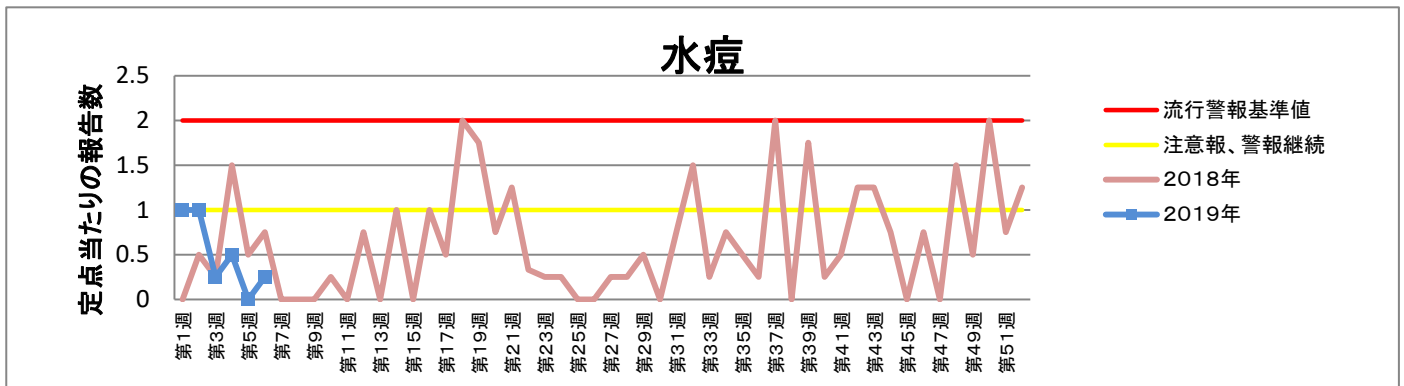
## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



## 感染性胃腸炎



# 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



# 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

